

# 総合臨床教育・研修センター

## ～皆さんの研修をバックアップします～

### センター長からのメッセージ

総合臨床教育・研修センター長 辻川 明孝



初期研修中に身につけるべきことは、目の前の患者さんの治療の中で指導医とのディスカッションを通して自ら診療方針を立て、同僚と切磋琢磨し、様々な職種のスタッフと密に協力しながら、一人一人の患者さんの治療に正面から取り組むことで、医療人としての基礎を築くことです。

医学生や研修医の教育を長年行ってきた京大病院は、多くの熱心な指導医が多方向から後進を育てるという指導スタイルが色濃く存在し、メディカル・スタッフとの連携も年々強化されています。皆さんが医師としてキャリアを始める重要な時期にあたって、安心して研修を受けられる環境が整っています。

また、その後の専門研修に関しても、京大病院と長年深い関わりのある関西を中心とした数多くの研修病院が揃っています。そこでは京大病院の診療や教育を良く知る経験豊富な指導医が、専門研修へのスムーズな移行へと導きます。

病院同士の連携だけでなく、こうした人と人との有機的なつながりは、専門研修から大学院進学、海外留学といった多様なキャリアパスを構築する大きな助けとなることでしょう。出身大学を問わず、自由・平等なアカデミアが伝統である京大病院で研修しませんか。総合臨床教育・研修センターは皆さんの熱意を歓迎し、全力でサポートします。